

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画（案）」市民説明会
質疑応答・意見交換 発言要旨【但東地域】

1 日 時 2020年9月11日 19:00~20:40

2 場 所 但東市民センター ホール

3 参加人数 79人

4 質問、意見等

発言者	質問、意見等	回答等
A氏	<p>高橋地区からの要望を計画（案）に加味してくれて、感謝している。子どもたちの社会性や人間性は、たくさん子どもたちと遊ぶことによって、培われていくと思う。今、高橋地区は、一桁人数のクラスばかりである。早く合併して、子どもたちが、たくさん子どもたちと一緒に遊んでいる姿を見たい。私たちが要望を出した中で、3点をお願いしたい。1つ目は、スクールバスを常駐させてほしい。子どもたちが、地域との交流を続けていくために、いつでも地域に遊びに行けて、地域の人と関わられるようにしてほしい。2つ目は、スクールバスに、支援員を添乗させてほしい。合併したら、こども園が遠くなるので、スクールバスで通わせたいと思っている。そのスクールバスに添乗員を乗せてもらい、送り出す保護者と添乗員が意見を交換することで、添乗員から保育士にその様子を伝えてもらい、連携を密に取っていききたい。3つ目は、早期の実現をお願いしたい。</p>	<p>要望の件は、地域の皆さんとの話し合いの中で、進めていきたい。スケジュールの関係は、他の地区のこともあるので、この場では回答できないが、子どものためには早い方が良いと考える。しかし、小学校と一緒に検討する方針としているので、それぞれ地域ごとの考え方もいろいろあると思うので、地域の皆さんと協議を進めていきたい。</p>
B氏	<p>資母地区にこども園を残してほしい。少子化や過疎化は、よく分かる。私も都会からUターンしてきた身なので、その危機感は本当に持っている。いろんな事情もあるが、子どもたちの生活圏で、子どもたちが地域に見守られながら育っていくことも、価値のあることだと思う。</p>	<p>その件も、昨年の地区との協議の中で、十分把握している。前回の答申の時は、豊岡市全体として、就学前施設をどうしていくべきか、ということだったが、今回の計画（案）の考え方は、但東地域は小学校も含めて、どのように進めていくのかということとした。それぞれの立場で、考えも異なると思うので、そのことを踏まえ</p>

		ながらの調整となる。地域の中に入れてもらい、丁寧に進めていきたい。
C氏	園児の減少による、教育・保育の質の低下を統合の理由の1つに上げているが、資母認定こどもの先生は、子どもたちにとっても熱心・親身に接しており、親としては、安心して預けることができている。私は、教育・保育の質が低いと感じたことはない。豊岡市の12月定例会でも、教育・保育の質の低下といわれるが、効率性・財政が先に立っているのでは、との質問に対して、質が低いのではなく、少人数できめ細やかな教育・保育をしている、との答弁であったと承知している。それなら、近くに安心して子どもを預けることのできる、今の状態がベストだと思う。	資母認定こども園では、少ない人数でも、きめ細やかに、子どもたちに寄り添った教育・保育をしている。しかし、子どもの人数が、これからも減っていく状況の中で、特に、3・4・5歳児ぐらいになると、子ども同士で育ち合う環境が、作りにくくなっていくことを、私たちは懸念している。冒頭で、非認知能力のことも話したが、ある程度の人数の子ども同士の中で関わり合って、お互いで協力したり、頑張ったり、意見を交わし合うという、そのような環境を意識して整えたいと考えている。
	スクールバスを運行する場合、0歳児から送迎してもらえるのか。実際可能なのか、疑問に思う。それこそ、人員の確保が必要になり、効率性とは程遠いものにならないか。	低年齢の子どもと同乗は、課題が多い。人の確保などのこともあるが、一番は安全性である。地域と話し合いながら、検討していきたい。
	教育も大切だと思うが、保育の観点からすると近くにある方が良い。バランスを考えてほしい。意見として聞いてもらえたらいい。	
D氏	送迎の件で、雪道は不安だし、高齢の祖母の代理での迎えが多くなるので、親はすごく困っている。また、3歳よりも下の子どもが、スクールバスに乗ることは、現実的に難しいということに、保護者は不安を抱えている。そういう気持ちに対して、どう思うか。	但東地域はエリアが広く、集落によっては、かなり通園距離が遠くなる。今でも、路線バスやイナカーに、子どもに乗ってもらっている。園児の安全性のこともあるので、通園は保護者送迎を原則としたいが、但東地域については、可能な限り、通園対策と一緒に検討したい。雪道の話も分かるし、祖父母が送り迎えをしている実態も承知しているので、話し合いながら、進めていきたい。
E氏	適正な子どもの人数が、15人から30人ということだが、2019年生まれは、但東全体で	適正規模の人数については、10年前、幼稚園と保育園を統合する際、現

	<p>14人であり、すでに15人を下回っていることになる。2027年に3園が統合して、開園したとしても、適正な人数の保育を与えることができないと思った。子育てセンターに通っていて、子ども同士で育っていくということを実感する。大人や親が教えること以上に、子どもたち同士で育ち合うことが、必要だと思う。私も早期実現を希望する。</p>	<p>場の先生にアンケートを取ったところ、4歳児・5歳児で1クラス20人程度が適当ではないかとなった。幼稚園が法律で1クラス30人と決まっているので、31人だと15人と16人のクラス編成になる。それで15人から30人と決めた。今回の計画（案）では、最近の教育・保育の現場の状況を踏まえて、前回と同じ人数とした。確かに但東地域は14人であるが、おおむね適正規模であり、できるだけ地域の中で育ててほしいので、適正規模だけをもって、但東地域を超えた統合は考えていない。</p>
F氏	<p>幼保の関係や小学校の関係も含めて、もう少し早く、議論や説明の機会がなかったのか。早く決めて、合併なら合併で進めてもらいたい。スクールバスも、ありがたいと思う。合橋地区に住んでいるが、子どもを送る方がほとんどで、歩いて行く方は少ないと思うので、可能であれば、要望を聞いてあげてもらいたい。</p>	<p>議論のタイミングが遅くなり、申し訳ない。早く決めることは、大事だと思っている。</p>
	<p>地域と丁寧に協議したいということだが、説明会や会議に出られない方は、どうするのか。</p>	<p>市民説明会の後に、要望により地区別説明会を行う。土・日曜日、休日を含め、地区に呼んでもらえれば、コロナ対策をした上で、できるだけ多くの方に参加してもらい、協議の中で、集約していきたい。</p>
	<p>地区別説明会を開催するなら、区長を通じてとか、ハードルが高い。こちらから説明会の機会を設けるのではなく、機会を設けてほしい。</p>	<p>地区別説明会は、小学校区単位で開催したいと考えており、区長を通じてもらう方が、ありがたいと思っている。しかし、どうしても難しければ、市に直接要望をもらえれば、市から、区長会に声を掛けさせてもらう。</p>
	<p>一番の対象者は、これから結婚する方、結婚して間もない方、小さい子どもがいる方であり、一番優先される意見なので、その集約</p>	<p>今の計画（案）は、将来の話になるので、対象の世代の方にも来てもらえるように、今は子育てセンターな</p>

	を求める。	どに相談している。以前は、区長に相談した地区もある。
G氏	<p>昨年の秋に話があってから、高橋地区で、何度も話し合いを重ねてきた要望を、計画(案)に組み込んでもらい、ありがたいと思っている。通園バスは考えているということだが、要望の中では、通園のみならず、地区とのつながりを、これからも大切にするために、自由に使えるバスの常駐をお願いしている。地区に出掛けての学習や地元の方との交流を、気軽にできるように、園や小学校の自由裁量で使えるバスをお願いしたい。</p>	<p>今、明確な回答ができなくて申し訳ないが、実施には課題がある。具体的な話をしながら、できることを一緒になって検討していきたい。今、可否の話はできない。</p>
H氏	<p>認定こども園の教育と保育という問題が、混ざり合っていて、話のつじつまが合わないところが多々ある。保育は、子どもを預かってもらい、親が安心して仕事をできる環境づくりが、一番だと思う。そこに教育や非認知能力の問題を一緒に言われても、はぐらかされているような気がする。まずは、保育の問題を一番重視すべきで、いろんな方の意見を聞いても、送り迎えは近い方が良い。私も毎日送迎しているので、距離が延びると、負担は大きくなる。勤めをしている保護者にとっては、もう一つ大きな負担だと思う。その上で、教育という面も無視はできないので、多くの人数を受け入れられる教育の場があったら良いのではないかと。</p> <p>但東には但東の子育ての仕方というのがあるはずである。多人数を強調し、認定こども園での活動内容の紹介もあったが、あれを聞いていると、但東ではまともな子育てができないと言われているようで、但東では子育てをしにくい、但東から離れようか、といったことにつながる。但東で子育てして良かったと、地元で育てて良かったというような、但東らしい教育の場を、住民と共に築いてほしい。少人数は少人数の良さが本当にたくさんある。</p>	<p>保育は大事であり、0歳児から預かっていること、長時間預かっていることなど、職員も保育を大事にしている。あわせて、2時までの1号認定子どもも預かっていることで、特に3歳児以上において、教育の部分も大切にしている。2時以降の保育は、異年齢との交流も大切にしながら、家庭的な保育を行っている。</p> <p>認定こども園が、近い方が良いというのは、よく分かる。</p> <p>少人数の保育には、良さもたくさんある。特に、異年齢の交流とか、温かい部分もたくさんあると感じている。その中で、同年齢の育ちや関わりによって、子ども同士が学ぶ機会をもっと保育の中に取り入れられたら、すてきな成長につながると考える。</p> <p>今の話は、例えば、3歳児までは、保育ということで地域に置いて、教育で集団が必要になったら、いわゆる幼稚園のところを1つにする方法はどうかという提案だと思う。それはとても良いと思うが、総合的に検</p>

	<p>んある。</p>	<p>討すると、先生の数や建物の維持などの課題を抱えている。相談しながら進めていきたい。</p>
I 氏	<p>子どもが1歳半のころに、高橋認定こども園に預かってもらおうと考えた時点で、同学年の児童がいなかった。地域のこども園に預けたいという思いはあったが、たった1人の学級というのを、親としてイメージできなくて、別の園に通っている。2027年に3園を統合する計画であるが、今、高橋地区の要望、資母地区の住民の意見を伺う中で、意見が異なっていると感じた。高橋と合橋の統合を先に進め、資母のこども園は、それとして検討していくという選択肢はないのか。私は、3園の統合が、早期に実現されることを望む。</p>	<p>現時点では、そのようには考えていない。否定をしているわけではないが、今後話をしながら、そういう選択肢が浮上してきた場合は、そういうこともあるかもしれない。今の計画（案）としては、小学校も含めて、3つの地区を1つにしていきたいということが、市の考えである。しかし、地区からそういう要望等が出てきたら、それは検討することになる。</p>